

令和5年度 幼保連携型認定こども園 姫路東こども園自己評価結果

1. ○基本方針

- ・安全で安心して通えるこども園の確立を目指します。
- ・園児一人ひとりを大切に、「丈夫な身体づくり、明るくのびのびした心を育てる」保育を目指します。
- ・社会性、協調性を基調として、生活習慣やしつけが身につく保育を目指します。

○教育・保育目標

「のびのびと遊び、豊かな心と身体を育てる」

- ・ことば遊び、絵本の読み聞かせ等により豊かな言語を育てる。
- ・リズム遊びにより情操豊かな子どもを育てる。
- ・生活習慣の確立を目指し、自立する子どもを育てる。

2. 令和5年度のテーマ

「チームのためにベストを尽くす」

子どもたちが日々安心して過ごすことが出来るように、温かく見守り、一人ひとりと信頼関係を築いていくため、職員同士がしっかりと連携することを目的とする。また職員が互いに助け合い、互いを思いやる心を持ち、子どもたちのために、一致団結できる組織となるよう努める。

3. 目標・計画の達成及び取り組み状況

評価項目	自己評価	評価理由と取組状況
保育内容の 共通認識	A	○乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・小グループ担当制の下、愛着関係を構築し、一人ひとりの子どもの発達に合わせた援助を実施。 ・食事、排泄、着脱への意識づけをしている。
		○幼児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活を通して人間関係や自然に係る楽しさを知る。 ・英語、体操、音楽、茶道等のステップアッププログラムを実施。 ・異年齢交により相手を思いやる気持ちを育てる。
		○職員会、保育士会等の会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修会を実施。 ・職員間の情報共有並びに確認の為、適宜職員会等を実施。 ・ヒヤリハット、事故について職員会議毎に確認し毎月委員会を実施。

保育教諭の 資質向上	A	<p>○専門性を深めるための研修の充実・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修をオンラインで受講。 ・給食関係者研修会、食中毒・感染症研修会等に参加。 ・特別支援、児童虐待防止研修会等に参加。 <p>○目標の設定および振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月案、週案、個別記録、保育日誌の記入等により各目標、課題を振り返り、反省を活かした保育を実施するよう努めている。
保護者に対する 支援及び情報提供	B	<p>○子どもの成長の喜びを共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、モニター画面、today's Memory、Instagram等で日々の様子をお知らせしている。 ・担当保育者等との個別懇談会を実施。 ・コロナ対応の終息により、人数制限等の制約もなく行事等を実施することができ、直接子どもたちの成長の様子を見ていただくことができた。 <p>○保育内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続利用申請時には「重要事項説明会」において、変更点や保育目標等の詳細について説明し、承諾を得ている。 ・毎月、園だより、グループだより、給食だよりを通してこども園の情報を定期的に提供。
地域子育て支援	B	<p>○こども園の機能の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、預かり保育を実施。 <p>○関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会との交流（屋台見学、獅子舞等の祭事の行事での交流） ・小学校との連携（運動会） ・消防署、警察署との連携（AED講習、幼年消防団への参加）。 ・地元農家の方と収穫体験を通じての交流。 <p>コロナ対応の終息により、制限なく交流が行えた。</p>
健康及び安全	A	<p>○健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の実施（年2回の学校医、年1回の学校歯科医）。 ・規則正しい生活習慣を身につける。 ・アレルギー対応児の情報と緊急時対応等を全職員で把握し、給食関係職員と密に連携をとって適切に対応している。 ・不測の事態の場合のマニュアルを見直し、どのような状況であっても同じ対応がとれるようにわかりやすく明示した。 <p>○安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の安全に備え、月1回の避難訓練を実施。 ・消火訓練・交通安全教室の実施 ・虐待防止のため、身体的、服装等に異常が感じられる園児に対しての記録、姫路市子育て支援室へ報告し、必要に応じて支援室と連携しながら見守り活動を続ける。

4. 今後の取り組むべき課題

保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての子どもに等しく教育・保育を保障し、展開していく。 ・ 行動・評価・反省を繰り返す中で、子どもに必要な環境、健やかな成長のための保育を目指す。
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5歳児やその保護者が安心し、期待を持って進学できるように小学校の行事に参加、交流する。 ・ 小学校との子どもの引き継ぎのための業務を密に行う。
子育ての支援の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な支援の必要な子ども（発達障害等）に対して、保護者との情報交流を密にとりあう。 ・ 関係機関と情報共有しながら適切な支援を行う。

5. 幼保連携型認定こども園姫路東こども園に対する総合的な評価

総合評価	<p>開園時よりお世話になっていますが、コロナ禍を経て、熱心に改善活動に取り組まれていると感じています。</p> <p>昨年度より導入された「らくらく連絡帳アプリ」により、以前は紙媒体で発行されていたおたよりが減り、SDGsへの取り組みにも繋がっているし、保護者側からの欠席連絡もしやすくなりました。</p> <p>3歳児までは個々に連絡帳で詳しく、加えて <i>today's memory</i> ではその日の出来事や明日の連絡、必要な持ち物など丁寧にお知らせくださっています。また、降園時には、子どもたちが頑張っていたことやできるようになったこと中心に直接伝えて下さり、保護者との連絡を密にとることで信頼関係を築けています。</p> <p>安全で安心して通えるこども園を確立するために、定期的な会議や研修を行い、職員の資質向上に努められておられます。</p> <p>日々の情操教育に加え、大根やさつまいもの収穫やチャレンジクッキング、ぽぷらスペシャルデーなどの体験を通して、子どもたちは豊かな心を育んでいます。</p> <p>保護者の意見や要望にも耳を傾け、寄り添い、可能な限り対応して下さり、ありがとうございます。</p> <p>今後とも、子どもたちの未来のために、変わらぬ愛でご指導くださいます様、よろしくお願いいたします。</p>
A	

※評価の表示について

A	全ての点で目標、課題が達成できている
B	目標、課題が達成されている
C	取り組まれているが、成果が不十分である
D	取り組みが不十分である